

## 11 月度理事会議事録（2025 年 11 月 11 日（火）開催）

### 1. 会長報告（10 月 14 日（火）～11 月 10 日（月）出席案件）

- 10/14（火）日本人会・理事会 於：本館
- 10/19（日）絵画同行会・作品展 於：ギャラリー21@パーソネルコンサルタント
- 10/21（火）泰日協会 Board Meeting 於：Dusit Thani Hotel
- 10/22（水）村山元首相弔問記帳 於：大使館
- 10/23（木）ASCOJA Conference 於：エメラルドホテル
- 10/28（火）泰日協会 Executive CEO Dinner 於：三菱ハウス
- 11/ 2（日）TEIJIN U-17 New Generation Cup 決勝戦・閉会式 於：Thonburi Stadium
- 11/ 5（水）裏千家追悼茶会（代理出席：奥森副会長） 於：大使公邸
- 11/ 7（金）日本人会・企画推進部会議・三役会 於：本館
- 11/ 8（土）JFA ユニクロサッカーキッズ 於：BGPU Training Center 3
- 11/ 8（土）シーカーアジア財団・奨学金授与式（代理出席：熊本理事）  
於：シーカーアジア財団・住民委員会事務所

### 2. 一般報告（事務局）

#### （1）10 月度個人会員動向

入会者 84 名 退会者 153 名 現会員数 4,604 名（内、準会員 29 名 会友会員 196 名）  
（前年同月 4,811 名・前年同月比 95.7%）

#### （2）10 月度賛助会員

〈入会 0 社〉

〈退会 2 社〉

- ・Adastria (Thailand) Co.,Ltd.
- ・Logisteed (Thailand) Ltd.

現会員数 503 社（前年同月 501 社・前年同月比 100.39%）

#### （3）会員優待店

現在の有効店数 84 店舗（前月比+1 店舗）

##### 【新規 5 店舗】

- ・Up & Above Restaurant And Bar on 24 floor (The Okura Prestige Bangkok)
- ・麵屋我ガ
- ・KASHIYA
- ・AVA Brasserie, InterContinental Bangkok Sukhumvit
- ・THE SPA by HARNN, InterContinental Bangkok Sukhumvit

##### 【更新 1 店舗】

- ・Japan Pastry Cafe

##### 【脱退 4 店舗】

- ・Evergreen Laurel Hotel Bangkok (Sathorn)
- ・Wareerak Hot Spring and Wellness
- ・Vacation Village Phra Nang Lanta
- ・Vacation Village Phra Nang Inn

#### （4）10 月度会館来訪者数

本館：延数 424 名（実数 385 名）

別館：延数 1,904 名（実数 625 名）

合計：延数 2,328 名（実数 1,010 名）

（前年同月 延数 2,289 名（実数 1,074 名）前年同月比 101.7%（94.0%））

（５）会館貸出サービス

- ・ 10～12 月の法人利用を紹介した。学校の入試、鳥羽市セミナーで予約を頂いている。

（６）10 月度寄贈報告

- ・ 本の寄贈

Fujimoto Rie 様、北村知恵様、その他 2 名 1 企業より、合計 277 冊寄贈頂いた。

（７）10 月度会計報告

- ・ 10 月度収入は、261 万バーツ（前年同月 275 万バーツ 前年同月比 94.8%）
- ・ 10 月度支出は、191 万バーツ（前年同月 192 万バーツ 前年同月比 99.8%）
- ・ 単月収支は、69 万バーツ（前年同月 83 万バーツ 差額 -14 万バーツ）
- ・ 累計収支は、20 万バーツ（前年同月 243 万バーツ 差額 -225 万バーツ）

（８）日本人会の主な会議など

- ・ 11 月の主な会議日程と各同好会・部会など主な行事日程を確認した。

3. 後援名義・ロゴ使用申請（事務局）

（１）事業名：BEETHOVEN SYMPHONY NO.9 ベートーヴェン作曲「交響曲第 9 番」合唱演奏会

- ・ 開催日 2025 年 11 月 23 日（日） 於：King' s collage ホール
- ・ 主催：新バンコク混声合唱団 及び バンコクグリークラブ
- ・ 要請事項：ロゴ使用、広報協力  
→異議なく承認された

（２）事業名：国際交流基金海外巡回展「ハイパー江戸博：明治銀座の時間旅行」展

- ・ 開催日：〈チェンマイ〉2025 年 12 月 14 日（日）、15 日（月） 於：Light Bulb SAC Gallery  
〈バンコク〉2025 年 12 月 19 日（金）～26 日（金） 於：TCDC バンコク
- ・ 主催：国際交流基金バンコク日本文化センター
- ・ 要請事項：ロゴ使用、広報協力  
→異議なく承認された

（３）事業名：デジタルスキル標準(DSS)準拠 HCD 基礎検定のタイ団体受験

- ・ 開催日：説明会・研修会;2026 年 1 月 10 日（土）、2 月 7 日 試験日;2026 年 2 月 28 日（土）
- ・ 主催：FOURDIGIT(Thailand) Co.,Ltd
- ・ 要請事項：広報協力、会場提供  
→異議なく承認された。

（４）事業名：JMHERAT 第 22 回セミナー

- ・ 開催日：2026 年 3 月 29 日（日） 於：シーナカリンウィロート大学
- ・ 主催：タイにおける母語・継承後としての日本語教育研究会(JMHERAT)
- ・ 要請事項：広報協力  
→異議なく承認された。

#### 4. 準会員申請

- ・ Arkira Deepracheep 様(タイ籍)  
→異議なく承認された。

#### 5. (情報共有) 2025 年度収支見込と予算策定スケジュール (会計部・事務局)

- ・ 2025 年度収支見込を報告した。

収入については 2,384 万バーツを見込んでいる。前年実績比で 92.8%(-185 万バーツ)と下回る見込み。予算比では 93.8%(-157 万バーツ)を見込む。会員数減少に伴い、全体として、予算達成は厳しい見込みである。個人会員、賛助会員の会費収入は前年比の 5~10%減となっている。広告収入も前年比約 13%減、企画推進部は予算に対して 50%程の収入となっている。これは、予算策定時には旧婦人部で実施していた小規模な有料イベントを多数計画していたが、運動会という大型イベントを実施したため、当初計画したほど小規模な有料イベントを実施していないためである。主な収入科目の見込は下記の通りである。

個人会費収入 見込 870 万バーツ 予算 899 万バーツ(96.9%) 前年実績 961 万バーツ(90.6%)

賛助会費収入 見込 667 万バーツ 予算 677 万バーツ(98.4%) 前年実績 706 万バーツ(94.4%)

広告 収入 見込 106 万バーツ 予算 110 万バーツ(96.5%) 前年実績 122 万バーツ(87.0%)

教育部(英検)収入 見込み 312 万バーツ 予算 353 万バーツ(88.2%) 前年実績 287 万バーツ(108.7%)

クラブ部(会館施設)収入 見込 202 万バーツ 予算 219 万バーツ(92.4%) 前年実績 226 万バーツ(89.3%)

企画推進部収入 見込 41 万バーツ 予算 80 万バーツ(51.2%) 前年実績 62 万バーツ(66.1%)

支出については 2,673 万バーツを見込んでいる。支出合計は予算比 89.0% 前年実績比で 101.6% 収支差として-289 万バーツと見込む。会員増強施策の予算 150 万バーツについて、2024 年度は別枠でとっていたが、2025 年度からは企画推進部の方に移動させている。こちらの支出の実績見込は 68 万バーツ、予算比 45.5%を見込んでいる。内容は運動会の開催費とチャリティーバザーのステージ経費に使用した。以上の結果、一般会計の次期繰越金は 3,265 万バーツとなる見込みである。

また、チャリティー基金や、納骨堂カンチャナブリ基金、退職金積立金といった使用使途が限られている基金積立金以外(一般会計・会館クラブ基金・厚生基金・大型備品積立金)の 2025 年度末(2026 年 3 月末)の残高見込みは、5,614 万バーツ。

- ・ 2026 年度予算策定スケジュールについて報告した。12 月の理事会にて予算方針案を発表、12 月中旬~下旬より各部傘下の団体へ説明を行い、1 月初旬に事務局宛に 2025 年度着地見込・2026 年度予算を申請提出。1 月下旬に事務局が取りまとめのうえ、各部長へ事務局案を提出するので、各部長にてご検討いただきたい。

各部長に検討いただいた予算案を基に 2 月下旬に予算審議委員会を開催し、3 月の理事会にて予算審議委員会より予算案を提出するので審議いただきたい。予算案は理事会承認事項となり、4 月の定期総会で報告する。

- ・ 大久保予算審議委員長より、奥森副会長、米増総務部長、土田クラブ部長に 2026 年度予算策定予算審議員を委嘱した。
- ・ 事務局より

2017 年以降収支均衡を目指していろいろな改革をしてきたが、昨年の予算審議委員会では、このまま収支均衡にばかりこだわっていると会員へのサービスが縮小傾向になるため、会員への還元

に重点を置いて運営をしていくこととした。赤字により繰越金が枯渇するというような会の運営に支障が出そうな際には会費の値上げを検討するという方向性となった。現状の赤字幅(300 万パーツ/年)だと 10 年ほどは今の状態を維持できる計算となる。

・大久保会計部長より

会員増強施策を元とした企画推進部の予算を使用して、2025 年度は予算の 47%ほどを使っている。新しいイベントを実現させることができた。イベントの効果測定や会員からのフィードバックを参考にしながら、来年度予算にどの程度折り込んでいくのか事務局と相談しながら決めていきたい。

6. (情報共有) チャリティーバザー収支報告 (事務局)

- ・9 月 20 日(土)、21 日(日)に開催したチャリティーバザー最終収支を報告した。現金寄付は 105 の会社/団体/個人より 957,189 パーツ、ブース出店料として 26 社から 406,000 パーツ、JICA 様による協賛金 21,400 パーツ、商品売上合計 268,864.75 パーツ、収入合計は 1,664,302.75 パーツ。

支出は 589,264.97 パーツ。収支はプラス 1,075,037.78 パーツとなった。

近年では、WiSE 社にて会場提供をして頂いた 2019 年のチャリティーバザーに次ぐ収支を実現できた。アイコンサイアムより会場費は無償提供頂き、電源設備など会場関係費は委託店収入で賄うことができたが、その他の経費までは賄いきることができなかった。特に電源設備については過剰な仕様だったこともあり、次年度は見直し費用削減を検討したい。来年度もアイコンサイアムで実施できるよう、11 月 13 日(木)に島田会長、奥森副会長とともにアイコンサイアムへお礼の挨拶に伺う。

・垣内実行委員長より

各方面の協力もあり、このようなチャリティーバザーが実施できてよかった。一方で寄付や商品提供、出店の部分では以前よりも協力して頂くのが難しい現状もあり、考えながらうまく進めていきたい。

・奥森副会長より

来年度も無料で同会場を使用できるように 11 月 13 日(木)にアイコンサイアムに挨拶に行った際にご依頼したいと考えている。

7. (情報共有) 2025 年度チャリティー基金運営委員会 運営委員の委嘱・推進スケジュール (チャリティー基金運営委員会・事務局)

- ・規定に基づき、油井チャリティー基金運営委員長・熊本チャリティー基金運営副委員長より、垣内チャリティーバザー実行委員長、谷口チャリティーバザー実行副委員長に運営委員を委嘱した。一般会員からは、バザー実行委員代表より 山川喜美代様、宮田幸枝様、田村優子様の 3 名を選出した。
- ・昨年同様一般公募とし、申請期間は 2025 年 11 月 17 日(月)～2026 年 1 月 4 日(日)、2026 年 2 月 6 日(金)に第一回チャリティー基金運営委員会を開催し審議を行う。既存の団体には事務局からお声がけをする。第一回の審議で結論がでた案件については、2 月 10 日(火)の理事会にて報告・審議、継続審議となった案件は、3 月 10 日(火)の理事会にて報告・審議の予定である。その後 3 月～4 月にかけて寄付金を贈呈する予定でいる。

(チャリティー基金運営委員会規定)

8-ハ) 基金支出の案件の審議と決定 (2014 年 10 月改定)

- ・寄付申請金額が、10 万パーツ未満の案件については、委員会にて審議し、支出決定した場合、理事会にて報告する。
- ・寄付申請金額が、10 万パーツ以上の案件については、委員会にて審議し、支出決定した場合、理

事に提案し、理事会の承認を得るものとする。(2017 年 3 月改定)

- ・2025 年度のチャリティー基金の支援額としては、2019 年にチャリティー基金運営委員会にて設定したガイドラインに従い、本年度のバザー収益金 107 万バーツ、2024 年度のチャリティー基金の利息収入 24 万バーツ、合計 131 万バーツ(最大で 140 万バーツ程度)とする。
- ・委員会にて検討したい項目として、再来年となるが、2027 年・日タイ修好 140 周年記念行事としての大型寄付を検討したい。尚、2017 年の日タイ修好 130 周年の際には、タイ赤十字社に献血車の寄付(800 万バーツ)をおこなった。さらに、タイ国内の遠方の支援団体の実態を視察するための旅費についても検討していきたい。
- ・熊本チャリティー基金運営副委員長より  
チャリティーバザーで集まった大切なお金が必要な団体に届くようにしていく。昨年は新規 2 団体に支援ができた。今年も理事の皆様のお声がけや支援先の紹介などの協力をいただきたい。

#### 8. (情報共有) サートン本館・食堂拡張計画について(食堂運営委員会・事務局)

- ・サートン本館・食堂拡張計画について説明した。図書館スペースの 20 m<sup>2</sup>ほどを食堂の拡張にあて、食堂からの賃料を値上げする計画。現在の賃料は 75,000 バーツ/月で、将来的には 100,000 バーツ/月を目指しているが、それまでの第一段階として 90,000 バーツ/月への値上げを予定している。  
(現状食堂面積: 174.8 m<sup>2</sup> 拡張: 194.8 m<sup>2</sup> 現状m<sup>2</sup>単価 429.0 バーツ 拡張後m<sup>2</sup>単価 462.0 バーツ)  
工事の見積額としては、45 万バーツ(税別)を提示されている。まだ詳細は精査していないが、賃料を合わせて値上げすることで、約 3 年で工事代金を回収できる見込み。図書館はレイアウトを考慮し存続させる。
- ・今後の進め方について  
理事会に提案・同意→会員(図書館利用者・ボランティア)への説明→工事実施(ソクラン前後が望ましい)
- ・石井理事より  
当初は光熱費も含めて 30,000 バーツであったが、契約更新の度に 10%程度の賃上げをしてきた。食堂面積を広くして賃料値上げをし、最終的には賃料は 100,000 バーツ/月としたい。今の食堂の売上が 2 割程度下がったとしても、賃料の支払いは確保できると見込んでいる。もっといい条件で借り手が現れた場合は、そちらに借り手を譲ることも賛成である。  
→本理事会にて同意を得た為本件を進めていくこととする。

#### 9. 各部・各委員会報告及び提案等(発表順)

##### (1) 会報・広報部(井上理事)

- ・ワム、タイ自由ランドの無料情報誌 2 誌に掲載する広告を紹介した。
- ・10 月のホームページアクセス状況は、訪問数 9,018、閲覧数 19,892 で、LINE 配信した日の閲覧数が高くなった。前年同月比は、訪問数 99.0%、閲覧数 88.2%、前月比は、訪問数 81.9%、閲覧数 81.4%であった。タイからの訪問数は 62.9%、日本からは 30.8%。前月と比較し、タイから 31.5%増加、日本からは 1.0%増加している。日本からの閲覧は、東京、大阪、神奈川、愛知、千葉の順に訪問があった。
- ・LINE は 7 回の配信、登録者は前月より 38 名増加し、8,883 名。(有効者数 4,299 名)
- ・Facebook は 40 回の投稿、登録者は前月より 46 名増加し、4,080 名。
- ・Instagram は 40 回の投稿、登録者は前月より 61 名増加し、2,655 名。
- ・X(旧 Twitter) は 14 回投稿し、フォロワーは前月より 10 名増加し、1,468 名となっている。

(2) 教育部 (田中理事)

- ・2025 年度第 2 回英検について、11 月 9 日 (日) に二次試験 (2~3 級) を日本人会本館にて開催し、合計 196 名の方に受験いただいた。
- ・2025 年度第 3 回英検は  
11 月 24 日 (月) ~25 日 (火) Web 申し込み受付  
1 月 25 日 (日) 一次試験 @本館  
3 月 1 日 (日) 二次試験 @本館  
の日程で行われる。

(3) 運動部 (河村理事)

- ・10 月の活動について報告した。10 月 9 日、16 日、23 日、30 日 (木) にバドミントン同好会による体験会をラケットクラブにて開催し、12 名の方に参加いただいた。当初 2 日開催の予定であったが、今日票により 4 日間の開催となった。新たに 7 名の入部があった。  
10 月 15 日 (水) にヨガ同好会による顔ヨガ講習会を別館にて開催し、18 名の方に参加いただいた。エステティシャン歴 30 年 (内、技術インストラクター歴 8 年) のキャリアをもつ小野由紀子氏を講師として迎え、一人ひとりにあった首・顔周りのストレッチを指導いただいた。
- ・11 月の活動予定について報告した。11 月 13 日 (木) にヨガ同好会による日帰り遠足をナコンパトム方面で開催予定。11 月 26 日 (水) 編み物・手芸の会がチャリティーワークショップを別館にて開催予定。11 月 28 日 (金) ヨガ同好会が第 2 回顔ヨガ講習会を別館にて開催予定。

(4) 厚生部 (安江理事)

- ・10 月の出産準備教室&すくすく会は、助産師さんの育児相談、ひよこの部屋、親子 de リズム運動、ボランティア説明会、育児相談交流会、プレパパクラス、ペンギンの部屋、わんぱく広場「ハロウィン」の 10 イベントを開催。「育児相談交流会」は 10 月 17 日 (金) に開催し、8 組の親子にご参加いただいた。「日本の支援センターのように、専門職に気軽に相談できる場があると良い」との声を受け、今回のイベントを開催した。当日は、保健師・保育士・助産師の資格を持つスタッフが参加し、参加者との交流を通じて、子育てに関する相談や情報交換を行った。会場では、睡眠、離乳食、遊び方、幼稚園選びなどの話題が挙がり、和やかな雰囲気の中で活発な意見交換が行われた。
- ・10 月のみんなの相談室は、「フラワーバルーンを作ろう」を開催し、5 名の方にご参加いただいた。
- ・10 月のメイド紹介ボランティアは、ボランティアスタッフの方の一時帰国のためお休みであった

(5) 文化部 (澤田理事)

- ・10 月の活動について報告した。10 月 18 日 (土) から 23 日 (木) に絵画同好会による作品展がパーソネルコンサルタントギャラリー 21 にて開催され、14 名の方が参加された。2025 年度の 1 年間 Dr スチャートに学びながら描いた作品全 80 点を作品展で発表しました。開催中は、200 名を超える方にご来場頂いた。
- ・11 月の活動予定について報告した。11 月 22 日 (土) にバイリンガルの子どものための日本語同好会の見学会を開催する。また、11 月 26 日 (水) には 編み物・手芸の会がチャリティーワークショップを別館にて開催する。11 月 30 日 (日) クルンテープ写真倶楽部が撮影会をカオヤイ方面にて実施する。

(6) 企画推進部（奥森副会長）

- ・ 11 月の定期レッスンとして 11 月 4 日(火)に日本人会別館において「ロイクラトンのクラトン（灯籠）作り体験」を開催し、12 名の方にご参加いただいた。本イベントは ITDA 日・タイ文化交流センターへ委託して行った。来年もロイクラトンの時期に実施できるようにしていきたい。
- ・ 11 月の定期レッスンについて報告した。11 月はタイ舞踊基礎クラス、HIIT トレーニング、タイ語基礎(オンライン)クラスの 3 イベントを開催中であり、11 月 18 日（火）にからだ整えストレッチ体験会を開催予定である。JSS Star Platinum に委託しているフィットネスレッスンについては当初はアルティメットファイトを予定していたが、9 月に途中で中止となった HIIT トレーニングを再度開催することとした。なお、9 月に申し込みいただいた方を優先的に受け入れている。からだ整えストレッチ体験会についてはバンコクにて健康コンサルティング事業を行う We'llgo（ウェルゴ）に新たに委託し、開催する。
- ・ 11 月 21 日（金）にサイアム高島屋との共催で和菓子セミナーをサイアム高島屋 VIP ルームにて開催する。昨年、一昨年は婦人部にて行ったが、婦人部の廃部に伴い、今年は企画推進部にて行う。和菓子セミナーについては定員を上回る人数にお申し込みいただいているが、11 月 19 日（水）より和菓子職人が集結する「THE WAGASHI Japanese Foods, Crafts and Ikebana」を開催するので、ぜひサイアム高島屋に足を運んでほしい。

(7) 大使館代表（成嶋領事部長）

- ・ タイとカンボジアの国境地帯にて、タイ兵士が地雷の被害を受けた。それを受けて、カンボジアとの間で合意した国境紛争に関する停戦を一時中止することとなった。カンボジア兵 18 人の捕虜の引き渡しも中止となった。

(8) 事業部（神原理事）

- ・ 新管理僧（堂守）について報告した。  
杉本政明 師 2000 年 1 月生まれ 25 歳（僧名せいめい 本名まさあき）  
神奈川県横浜市緑区 福泉寺徒弟
- ・ 今後の予定  
11 月 17 日（月）高野山真言宗金剛峯寺にて辞令式  
（辞令式には、石井理事・村上事務局長が参列）  
11 月 19 日（水）バンコク到着予定  
12 月 12 日（金）8 時 30 分より 得度式
- ・ タイ国開教留学僧の会 訪タイ団受入れについて報告した。  
12 月 12 日（金）～16 日（火）の日程でタイ国開教留学僧の会が来タイされる。  
1978 年 11 月に第一回を実施されており、約 3 年おきに結成。今回が 16 回目となる。  
12 月 12 日（金）夕刻より、ロイヤルオーキッドシェラトンにて結団式  
12 月 13 日（土）10 時より、日本人納骨堂建立 90 年記念法要を実施

(9) 食堂運営委員会（石井理事）

- ・ 10 月の食堂運営状況について報告した。  
10 月下旬は売り上げが落ちたが、11 月は 95 万～100 万パーツの売上を見込んでいる。
- ・ 11 月 22 日(土)に「バイリンガルの子どものための日本語同好会」の子どもたちに向けて七五三を企画している。奥森副会長と相談し、サイアム高島屋様に千歳飴をご用意いただけることとなった。今後もタイ国内で日本の伝統行事を楽しめるようなことを考えていきたい。

(10) 学校代表（藤原校長）

- ・10月25日に小中学校合同のスポーツフェスティバル(運動会)は無事に終了した。
- ・今週は JAL の紙ヒコーキ教室、味の素の工場見学、翌週には JAL の陸上教室を開催する。その後は生徒の工場見学としてパナソニック、キャノン、ソニー、三菱電機、東芝の各社様にご協力をいただく予定である。各社様よりご協力をいただいているおかげで子どもたちの成長を実感している。

(1 1) JICA 代表 (作道所長)

- ・ミャンマーとの国境沿いにある難民キャンプが閉鎖された。JICA として難民の就労支援に向けて調査を行っている。バンコクの日系企業で就労支援に興味のある企業があればつなげたい。

(1 2) 青少年部 (事務局)

- ・10月の活動について報告した。8サークルが通常活動を行った。10月18日(日)演劇サークルのワークショップが別館にて開催された。バンコク在住で俳優業をされている中村みすず氏に講師を務めていただき、エチュード(即興的な演技練習)を行った。11月1日(土)にはコンテンプラリージャズダンスのワークショップを開催した。
- ・11月活動予定について報告した。11月22日(土)に剣道サークルの昇級試験がバンコク日本人学校にて開催予定。

(1 3) 事務局報告

- ・今後の予定を情報共有した。

1 0. 10 月度理事会議事録承認

→異議なく承認された。

1 1. 理事会出席者 (敬称略、順不同)

島田会長、奥森、垣内各副会長、大久保、小田原、神原、熊本、大内、澤田、安江、河村、田中、土田、井上、谷口、服部、近藤、石井各理事、白石監事、成瀧在タイ日本国大使館領事部長、藤原バンコク日本人学校校長、作道 JICA 所長、小谷報道代表、猪股氏、長縄氏、江草氏、事務局 (村上・松田陽平・花上)